

2026年2月9日

各 位

会社名 東京インキ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 堀川 聰
 (コード番号 4635 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役・常務執行役員
 管理部門長、IR統括 中村 真次
 (TEL. 03-5902-7652)

2026年3月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年8月5日に公表いたしました2026年3月期通期の連結業績予想並びに2025年9月25日に公表いたしました期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年8月5日発表)	百万円 47,300	百万円 1,800	百万円 1,950	百万円 1,800	円銭 141.83
今回修正予想 (B)	49,600	2,100	2,350	1,950	153.66
増減額 (B-A)	2,300	300	400	150	
増減率 (%)	4.9	16.7	20.5	8.3	
(ご参考)前期通期実績 (2025年3月期)	46,806	1,309	705	1,180	88.98

注) 2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは中期経営計画「TOKYOink 2027」に基づき、事業ポートフォリオの見直し、高付加価値製品へのシフト、適正な販売価格改定の実施等の施策を継続して推進してまいりました。主力製品の市況回復に加え、需要動向に応じた重点分野への経営資源投入が奏功し、売上および利益は計画を上回る進捗となりました。

事業別には、インキ事業では、オフセッティンキにおけるオフセット輪転インキ等の主力製品に加え、グラビアインキにおける機能性インキ・コート剤およびメディカルパッケージ向け製品（従前までの医薬包装向け製品）が堅調に推移いたしました。化成品事業では、日本国内およびASEAN地域におけるモビリティ用途向け製品（従前までの自動車用途向け製品はモビリティ用途向け製品に統一）や機能性包材用途向け製品が伸長し、両事業ともに計画を上回る水準で推移いたしました。加工品事業につきましては、ネトロン®（注）における水処理用資材等の一部用途で厳しい競争環境が続いたものの、土木資材の堅調な需要に支えられ、事業全体では概ね計画どおりに推移いたしました。

その結果、第3四半期の業績は売上高の増加に加え、利益面でも計画を大きく上回る水準となりました。

一方、第4四半期では一部製品において需要が一服する見込みに加え、費用計上においては、連結会計年度末に向けた会計処理の検討事項等を踏まえ、慎重な見通しを織り込む方針といたしました。こうした状況を総合的に勘案した結果、第3四半期までの実績と進捗状況を通期連結業績予想に反映し、上方修正することといたしました。

(注) ネトロン®は三井化学株式会社の登録商標です。

2. 2026年3月期期末配当予想の修正

(1) 2026年3月期期末配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
前回発表予想 (2025年9月25日発表)		22円00銭	—
今回修正予想		37円00銭	—
当期実績	130円00銭		
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	60円00銭	130円00銭	190円00銭

注) 2026年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前期実績および当期実績につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、前回発表予想および今回修正予想の合計につきましては、株式分割の実施により単純比較ができないため表示しておりません。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は185円00銭となり、1株当たり年間配当金は315円00銭となります。

(2) 修正の理由

当社は、株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針としております。この基本方針を前提とし、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする配当方針を策定しております。

2026年3月期の期末配当予想につきましては、業績予想の修正を踏まえ、1株当たり22円から15円増配の37円に修正させていただきました。

なお、今回の期末配当予想の修正は、資本効率の向上を意識した機動的な株主還元策の一環として実施するものであります。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上